



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,690	11.8	76	—	104	—	64	—
25年3月期第1四半期	4,195	0.7	△26	—	△10	—	△25	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 82百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.83	—
25年3月期第1四半期	△5.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,823	7,534	69.6
25年3月期	10,223	7,503	73.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,534百万円 25年3月期 7,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	5.6	100	—	125	266.0	65	—	12.91
通期	17,800	2.2	250	54.3	320	19.1	160	21.6	31.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	5,369,671 株	25年3月期	5,369,671 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	334,033 株	25年3月期	334,001 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,035,654 株	25年3月期1Q	5,035,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の衆議院選挙後のアベノミクスによる株高、円安、さらには景気対策効果といったプラス要因や輸出増などを背景とした景気回復により、企業の業績に上昇の兆しが見られるようになりました。

ビルメンテナンス業界におきましては、新規ビルを中心として空室率の改善や賃料水準の上昇がみられるものの、既存ビルでは賃料上昇の気配がまだ見られないなど、ビルオーナーの管理コスト意識は依然として強い状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、前連結会計年度に獲得したいくつかの新規大型物件が寄与し、売上は増収となりました。

また前連結会計年度より課題であった解約物件における余剰人員整理の対応及び低採算物件の原価改善がすみ、利益についても増益となりました。

リニューアル工事業業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客を中心として、広く営業活動を行った結果、特に東京地区を中心として増収増益となりました。

また不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件の契約満了及び既存物件における随時工事の獲得の不調や各種イベントの企画が売上につながらなかったことにより、減収減益となりました。

結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高46億90百万円（前年同四半期比11.8%増）、営業利益76百万円（前年同四半期は、26百万円の営業損失）、経常利益1億4百万円（前年同四半期は、10百万円の経常損失）、特別利益として投資有価証券売却益を13百万円計上し、四半期純利益64百万円（前年同四半期は、25百万円の四半期純損失）となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、帝京大学医学部附属病院、ORE錦二丁目ビル、名古屋観光ホテルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、ホテルの高稼働などにより、売上高は23億48百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。また解約による余剰人員の整理及び原価改善により、営業利益は3億5百万円（同17.3%増）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、NTT駿河台ビル、藤田保健衛生大学病院などの新規物件、あいおいニッセイ同和損保新宿ビル、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などにより、売上高は9億40百万円（同3.2%増）、営業利益は27百万円（同47.4%増）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、ヒューリック浅草橋ビルなどの新規物件、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などがありましたが、既存物件における減額及び警備関連機器更新工事の獲得の不調が影響し、売上高は6億81百万円（同0.6%減）、営業利益は55百万円（同0.3%減）とともに微減となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は39億70百万円（同6.4%増）となり、営業利益は3億87百万円（同16.0%増）となりました。

リニューアル工事業業

リニューアル工事業業につきましては、総合管理を行っている顧客ビルを中心とした新規工事の受注が増加し、売上高は5億85百万円（同97.2%増）となり、営業利益は46百万円（同187.6%増）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件のあま市文化会館及び関連施設が契約満了となったこと、またすいとびあ江南における随時工事の獲得の不調や各種イベントの企画が売上につながらなかったことから、売上高は1億34百万円（同19.3%減）となり、営業利益は4百万円（同5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産108億23百万円（前連結会計年度末比6億円増）、負債の部は32億88百万円（同5億68百万円増）となり、純資産の部は、75億34百万円（同31百万円増）となりました。

資産の部の増加要因は、主には「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」及び「投資有価証券」が増加したことによるものであります。

また負債の部の増加要因は、主には、「短期借入金」及び「賞与引当金」が増加したことによるものであります。これらの増加は、翌月に支給予定である賞与資金を調達したことによるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、第2四半期の業績予想に対する進捗率が、売上高は53.3%、営業利益は77.0%、経常利益は83.8%、四半期純利益は99.4%となっており、いずれも堅調に推移しています。なお、当第1四半期の増収増益の要因であったリニューアル工事の受注増及びホテルの高稼働の継続は不透明である為、平成26年3月期の第2四半期及び通期の業績予想は、平成25年5月14日公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,426	2,005,356
受取手形及び売掛金	1,778,623	1,906,789
有価証券	202,114	108,377
商品及び製品	4,245	4,440
原材料及び貯蔵品	54,435	61,152
繰延税金資産	112,265	176,772
その他	53,799	27,214
貸倒引当金	△542	△595
流動資産合計	3,893,368	4,289,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,091,378	2,118,887
減価償却累計額	△1,281,713	△1,296,897
建物及び構築物（純額）	809,664	821,990
機械装置及び運搬具	449,677	449,677
減価償却累計額	△380,682	△385,752
機械装置及び運搬具（純額）	68,995	63,924
工具、器具及び備品	335,942	342,124
減価償却累計額	△255,039	△262,219
工具、器具及び備品（純額）	80,903	79,905
土地	1,172,592	1,172,592
リース資産	—	10,620
減価償却累計額	—	△531
リース資産（純額）	—	10,089
有形固定資産合計	2,132,156	2,148,502
無形固定資産		
投資その他の資産	34,180	30,577
投資有価証券	2,054,077	2,243,756
差入保証金	264,458	260,298
退職積立資産	1,001,831	1,003,803
保険積立資産	316,330	315,203
ゴルフ会員権	143,494	151,051
繰延税金資産	160,471	155,095
長期預金	150,000	150,000
その他	99,862	102,502
貸倒引当金	△26,985	△26,985
投資その他の資産合計	4,163,540	4,354,727
固定資産合計	6,329,877	6,533,807
資産合計	10,223,245	10,823,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,333	555,926
短期借入金	60,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,990	30,000
リース債務	—	2,124
未払費用	201,903	247,278
未払給与	778,502	766,938
未払法人税等	47,714	123,425
未払消費税等	96,429	140,918
賞与引当金	219,832	378,292
その他	174,837	156,908
流動負債合計	2,133,543	2,701,812
固定負債		
長期借入金	50,000	42,500
リース債務	—	7,965
預り保証金	29,763	29,763
退職給付引当金	295,469	291,460
役員退職慰労引当金	211,376	215,157
固定負債合計	586,609	586,846
負債合計	2,720,153	3,288,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,983,758	5,997,832
自己株式	△314,505	△314,524
株主資本合計	7,369,691	7,383,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,400	150,910
その他の包括利益累計額合計	133,400	150,910
純資産合計	7,503,091	7,534,656
負債純資産合計	10,223,245	10,823,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,195,758	4,690,902
売上原価	3,697,458	4,097,833
売上総利益	498,300	593,069
販売費及び一般管理費		
役員報酬	39,705	40,425
給料	184,038	181,086
賞与引当金繰入額	37,166	35,816
役員退職慰労引当金繰入額	4,111	4,793
賃借料	47,348	47,602
減価償却費	18,924	18,995
保険料	33,349	31,552
その他	160,558	155,811
販売費及び一般管理費合計	525,201	516,083
営業利益又は営業損失(△)	△26,901	76,985
営業外収益		
受取利息	574	9,485
受取配当金	13,480	15,365
受取手数料	9,236	3,276
保険返戻金	373	—
持分法による投資利益	1,164	1,673
その他	543	1,103
営業外収益合計	25,373	30,905
営業外費用		
支払利息	1,069	388
有価証券運用損	4,900	—
支払手数料	1,682	1,702
雑損失	1,200	1,100
営業外費用合計	8,852	3,190
経常利益又は経常損失(△)	△10,380	104,700
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	13,881
特別利益合計	13	13,881
特別損失		
固定資産除売却損	19,328	—
ゴルフ会員権評価損	200	—
特別損失合計	19,528	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,894	118,582
法人税、住民税及び事業税	50,889	122,679
法人税等調整額	△55,290	△68,680
法人税等合計	△4,400	53,998
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,494	64,583
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,494	64,583

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△25,494	64,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,585	17,509
その他の包括利益合計	△46,585	17,509
四半期包括利益	△72,079	82,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,079	82,093

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業務	不動産ソリ ューション業務		
売上高							
外部顧客への売上高	2,135,239	911,491	685,493	297,119	166,414	—	4,195,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,135,239	911,491	685,493	297,119	166,414	—	4,195,758
セグメント利益又は損失(△)	260,135	18,566	55,358	16,201	4,552	△381,716	△26,901

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△381,716千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業務	不動産ソリ ューション業務		
売上高							
外部顧客への売上高	2,348,892	940,785	681,166	585,811	134,247	—	4,690,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,348,892	940,785	681,166	585,811	134,247	—	4,690,902
セグメント利益	305,006	27,366	55,191	46,589	4,298	△361,467	76,985

(注) 1. セグメント利益の調整額△361,467千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。